

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本コンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報処理システム科 Aコース	夜・通信	1740 時間	160 時間	
	情報処理システム科 Bコース	夜・通信	1560 時間	160 時間	
	デジタルクリエイター科	夜・通信	6150 時間	160 時間	
	Webスペシャリスト科	夜・通信	3420 時間	320 時間	
	ITスペシャリスト科	夜・通信	1380 時間	80 時間	
	ITビジネス科	夜・通信	690 時間	45 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに実務経験の有無を記載し、ホームページにて公表する <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本コンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表する <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(前職) 日本管財株式会社 副センター長	平成 27 年 9 月 26 日 ～令和元年 9 月 25 日	渉外・調整
非常勤	(現職) トナミ電工株式会社 取締役会長	平成 27 年 9 月 26 日 ～令和元年 9 月 25 日	経営(産業界の動向 把握)・研修
(備考) 任期以降も、学外者である理事を2名選任します。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本コンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。公表時期は、毎年4月としている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p><a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスにより、各試験、レポート、平常点(学習の意欲)の割合などを記載し、それにのっとり、各教員より成績評価をいただく。</p> <p>また複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価としている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  
公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。

- ① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。
- ② 評価は、秀 (100点～90点) 優 (89点～80点)・良 (79～70点)・可 (69～60点)・不可 (59点以下) で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。
- ③ 客観的評価 GPA 制度について

GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数GP (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。

成績評価基準と GP

成績評価	GP	備考
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。
優	3	到達目標を十分に達成している。
良	2	到達目標を達成している。
可	1	到達目標を最低限達成している。
不可	0	到達目標を達成していない。

GPA の計算例  $GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}$

\*小数点第2位下四捨五入、\*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

日本コンピュータ専門学校 教育目標

実践的専門技術教育とともに、人間形成の一部を担いアイデンティティの確立に寄与するという理念のもと、実践力に富み、広い視野を持った、真に良識ある技術者を育成する。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。

- 1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している
- 2. 専門的な知識を修得している
- 3. 専門的な技能を修得している
- 4. 豊かな教養と広い見識を修得している

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>
----------------------	---

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>情報処理システム科 Aコース (昼間2年)</p> <p>高度情報化社会を根幹から支えるコンピュータシステムの開発エンジニアを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している</li> <li>2. 専門的な知識を修得している</li> <li>3. 専門的な技能を修得している</li> <li>4. 豊かな教養と広い見識を修得している</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>情報処理システム科 Bコース (昼間2年)</p> <p>高度情報化社会を根幹から支えるコンピュータシステムの開発エンジニアと気象予報士、ビジネススキルを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している</li> <li>2. 専門的な知識を修得している</li> <li>3. 専門的な技能を修得している</li> <li>4. 豊かな教養と広い見識を修得している</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>デジタルクリエイター科 (昼間2年)</p> <p>実社会で求められるクリエイターやタレントとしてデビューできるエンターテイナーを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として仕事に従事できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している</li> <li>2. 専門的な知識を修得している</li> <li>3. 専門的な技能を修得している</li> <li>4. 豊かな教養と広い見識を修得している</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>Webスペシャリスト科 (昼間4年)</p> <p>2年課程よりさらに高度で実践的なコンピュータシステムの開発エンジニアとクリエイターを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している</li> <li>2. 専門的な知識を修得している</li> <li>3. 専門的な技能を修得している</li> <li>4. 豊かな教養と広い見識を修得している</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

I Tスペシャリスト科 (昼間1年)

1年間でコンピュータシステムの開発エンジニア、クリエイターを育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。また、留学生は、I Tと日本語を勉強し、ステップアップを目的とする。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。

1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している
2. 専門的な知識を修得している
3. 専門的な技能を修得している
4. 豊かな教養と広い見識を修得している

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページにて公表  
<http://www.ncp.ac.jp/>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

I Tビジネス科 (夜間1年)

社会人を対象とし、情報処理技術者試験(国試)やベンダー資格を取得を目指し、I Tエンジニアとしてステップできる人材を育成することを目的とする。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たしたものに対して卒業を認定します。

1. 学則に定められた授業科目及び単位数を取得している
2. 専門的な知識を修得している
3. 専門的な技能を修得している
4. 豊かな教養と広い見識を修得している

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページにて公表  
<http://www.ncp.ac.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本コンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 瓶井学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.kamei.ac.jp/">http://www.kamei.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.kamei.ac.jp/">http://www.kamei.ac.jp/</a>
財産目録	<a href="http://www.kamei.ac.jp/">http://www.kamei.ac.jp/</a>
事業報告書	<a href="http://www.kamei.ac.jp/">http://www.kamei.ac.jp/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.kamei.ac.jp/">http://www.kamei.ac.jp/</a>



## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理システム科 Aコース	平成7年1月 23日 文部科 学大臣告示第 7号	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	540 単位時間	180 単位時間	2040 単位時間	単位時間	単位時間
			1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		37人	23人	5人	6人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)																		
<p>(概要)</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																		
成績評価の基準・方法																		
<p>(概要)</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀 (100点～90点) 優 (89点～80点) ・良 (79～70点) ・可 (69～60点) ・不可 (59点以下) で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価 GPA 制度について</p> <p>GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 GP (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準と GP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPA の計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math>            *小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む</p>	成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																
優	3	到達目標を十分に達成している。																
良	2	到達目標を達成している。																
可	1	到達目標を最低限達成している。																
不可	0	到達目標を達成していない。																
卒業・進級の認定基準																		
<p>(概要)</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																		

学修支援等
(概要) 進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。 経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。 健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生については、病院へ行くように指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	1人 (6%)	9人 (56%)	6人 (38%)
(主な就職、業界等) 情報処理系企業、コンピュータサービス系企業			
(就職指導内容) 個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。 学内に企業を呼び企業説明会を実施している。 合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。 インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。 1年次から企業の人事の方に来校いただき就職試験（筆記試験、面接試験）に必要な知識と技術、マナーなどについて講演を行っていただいている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、ベンダー資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	8人	20%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。 出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報処理システム科 Bコース	平成7年1月 23日 文部科 学大臣告示第 7号	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	540 単位時間	420 単位時間	1860 単位時間	単位時間	単位時間
		1920単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	4人	0人	5人	8人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																		
<p>（概要）</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																		
成績評価の基準・方法																		
<p>（概要）</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価 GPA 制度について</p> <p>GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 GP（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準と GP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPA の計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math></p> <p>*小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む</p>	成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																
優	3	到達目標を十分に達成している。																
良	2	到達目標を達成している。																
可	1	到達目標を最低限達成している。																
不可	0	到達目標を達成していない。																
卒業・進級の認定基準																		
<p>（概要）</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																		
学修支援等																		

<p>(概要)</p> <p>進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。</p> <p>経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。</p> <p>健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生については、病院へ行くように指導している。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (67%)	1人 (33%)
(主な就職、業界等) 情報処理系企業、コンピュータサービス系企業、気象予報系企業、事務系企業			
(就職指導内容) 個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。 学内に企業を呼び企業説明会を実施している。 合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。 インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。 1年次から企業の人事の方に来校いただき就職試験（筆記試験、面接試験）に必要な知識と技術、マナーなどについて講演を行っていただいている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、気象予報士試験、ベンダー資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。 出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	デジタルクリエイター科	平成16年2月17日文科省告示第23号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	300 単位時間	660 単位時間	6000 単位時間	120 単位時間	120 単位時間
			1920単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	32人	21人	5人	16人	21人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																		
<p>（概要）</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																		
成績評価の基準・方法																		
<p>（概要）</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価GPA制度について</p> <p>GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数GP（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準とGP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPAの計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math></p> <p>*小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む</p>	成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																
優	3	到達目標を十分に達成している。																
良	2	到達目標を達成している。																
可	1	到達目標を最低限達成している。																
不可	0	到達目標を達成していない。																
卒業・進級の認定基準																		
<p>（概要）</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																		
学修支援等																		

<p>(概要)</p> <p>進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。</p> <p>経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。</p> <p>健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生については、病院へ行くように指導している。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	1人 (8%)	6人 (46%)	6人 (46%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>アニメーション系企業、映像制作系企業、ゲーム系企業、Webデザイン系企業、グラフィックデザイン系企業、芸能プロダクション</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。</p> <p>学内に企業を呼び企業説明会を実施している。</p> <p>合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。</p> <p>インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。</p> <p>1年次就職試験に必要な作品制作指導を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>コンテスト応募（入賞作有）、就職に必要な作品制作指導</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	5人	15%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、学業不振、家庭の事情</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。</p> <p>出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	Webスペシャリスト科	—	平成19年2月28日 文部科学大臣告示第27号			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3840 単位時間	360 単位時間	1800 単位時間	4440 単位時間	単位時間	単位時間
			3840単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	2人	0人	5人	7人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																		
<p>（概要）</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																		
成績評価の基準・方法																		
<p>（概要）</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価GPA制度について</p> <p>GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数GP（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準とGP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPAの計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math>  *小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む</p>	成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																
優	3	到達目標を十分に達成している。																
良	2	到達目標を達成している。																
可	1	到達目標を最低限達成している。																
不可	0	到達目標を達成していない。																
卒業・進級の認定基準																		
<p>（概要）</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																		
学修支援等																		

<p>(概要)</p> <p>進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。</p> <p>経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。</p> <p>健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生については、病院へ行くように指導している。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ゲーム系企業、情報処理系企業、コンピュータサービス系企業			
(就職指導内容) 個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。 学内に企業を呼び企業説明会を実施している。 合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。 インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。 3年次から企業の人事の方に来校いただき就職試験（筆記試験、面接試験）に必要な知識と技術、マナーなどについて講演を行っていただいている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、ベンダー資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。 出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。		



分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ITスペシャリスト科	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	960 単位時間	780 単位時間	300 単位時間	1320 単位時間	単位時間	単位時間
			960単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	29人	29人	5人	1人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																		
<p>（概要）</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																		
成績評価の基準・方法																		
<p>（概要）</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価 GPA 制度について</p> <p>GPAとは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 GP（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準と GP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPA の計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math></p> <p>*小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む また、複数の教員が授業を行う場合は、成績を合算し、平均をとって最終的な成績として評価している。</p>	成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																
優	3	到達目標を十分に達成している。																
良	2	到達目標を達成している。																
可	1	到達目標を最低限達成している。																
不可	0	到達目標を達成していない。																
卒業・進級の認定基準																		
<p>（概要）</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																		
学修支援等																		

<p>(概要)</p> <p>進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。</p> <p>経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。</p> <p>健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生については、病院へ行くように指導している。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	30人 (88%)	0人 (0%)	4人 (12%)
(主な就職、業界等) 専門学校、大学に進学			
(就職指導内容) 個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。 学内に企業を呼び企業説明会を実施している。 合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。 インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。 1年次から企業の人事の方に来校いただき就職試験（筆記試験、面接試験）に必要な知識と技術、マナーなどについて講演を行っていただいている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験 N2			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	4人	11%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。 出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	I T ビジネス科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	960 単位時間	300 単位時間	60 単位時間	600 単位時間	単位時間	単位時間
			960 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
<p>（概要）</p> <p>教務会議で授業の方法及び内容、到達目標、科目間のバランス、授業レベル、成績評価方法と基準を決定し、実務経験の有無等を記載したシラバスを作成し、公表している。シラバスに従った授業方法で年間授業計画を立てている。</p>																				
成績評価の基準・方法																				
<p>（概要）</p> <p>公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。</p> <p>① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。</p> <p>② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。</p> <p>③ 客観的評価 GPA 制度について</p> <p>GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 GP（Grade Point）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。</p> <p>成績評価基準と GP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>GP</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td> <td>4</td> <td>到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>3</td> <td>到達目標を十分に達成している。</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>2</td> <td>到達目標を達成している。</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>1</td> <td>到達目標を最低限達成している。</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0</td> <td>到達目標を達成していない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPA の計算例 <math>GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}</math>  *小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む</p>			成績評価	GP	備考	秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。	優	3	到達目標を十分に達成している。	良	2	到達目標を達成している。	可	1	到達目標を最低限達成している。	不可	0	到達目標を達成していない。
成績評価	GP	備考																		
秀	4	到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。																		
優	3	到達目標を十分に達成している。																		
良	2	到達目標を達成している。																		
可	1	到達目標を最低限達成している。																		
不可	0	到達目標を達成していない。																		
卒業・進級の認定基準																				
<p>（概要）</p> <p>設定科目の成績評価が60点以上であり、出席時数が総授業時数の3/4以上、各科目の出席時数が総授業時数の2/3以上で進級または、卒業することができる。</p>																				
学修支援等																				
<p>（概要）</p> <p>進路・就職指導、生活指導、学習指導を行っており、問題があれば個人面談を行い、対処している。場合によっては、保護者を交えて面談も行う。</p> <p>経済的な支援は、学内・学外の奨学金制度を利用している。</p> <p>健康管理については、全学生の健康診断を実施している。また、体調不良の学生に</p>																				

については、病院へ行くように指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 個人面談を行い希望する業種・職種とその他の条件を聞き求人を紹介している。 合同企業説明会に参加を勧めており、求めている職種を直接聞いて企業選択、職種選択の参考にするように指導している。 インターネットの求人サイトを利用するように勧めている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、ベンダー資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。 出席状況がよくない学生は、父母に連絡し報告と相談をしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報処理 システム 科	270,000 円	1,000,000 円	79,300 円	その他の内訳 (実習材料費、 学生厚生費)
デジタル クリエイ ター科	270,000 円	1,000,000 円	79,300 円	その他の内訳 (実習材料費、 学生厚生費)
We b ス ペシャリ スト科	270,000 円	1,000,000 円	81,000 円	その他の内訳 (実習材料費、 学生厚生費)
I T スペ シャリス ト科	270,000 円	1,000,000 円	78,400 円	その他の内訳 (実習材料費、 学生厚生費)
I T ビジ ネス科	30,000 円	370,000 円	78,200 円	その他の内訳 (実習材料費、 学生厚生費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、自己点検・自己評価を実施し、学校関係者評価委員会において、報告し改善を議論し、改善に努めることを基本方針にしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ウェブレイス	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年)	企業等委員
合同会社 翔エンターテイメント	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年)	企業等委員
株式会社アイ・ピー・エス	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年)	企業等委員
有限会社 スタジオ・マックス	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年)	企業等委員
	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日 (1年)	元高等学校校長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.ncp.ac.jp/">http://www.ncp.ac.jp/</a>
--